

## V 沖縄周辺重要水産資源調査

昭和47年度からの継続実施事業である。調査の目的、内容は昭和50年度沖縄周辺重要水産資源調査要綱に準拠している。調査結果の詳細な報告は“昭和50年度沖縄周辺重要水産資源調査”として別冊で行なうためここでは概要に止める。

### 調査概要

#### 1) 個体生態調査

漁獲物を通じて成長と年令、成熟、産卵系統群、回遊等について知見を得る。

a) 体長測定調査(魚種:カツオ類、タカサゴ類、トビウオ類、トビイカ)

b) 体長、体重調査(魚種:上記魚種)

c) 胃内容物、生殖腺調査(魚種:上記魚種)

#### 2) 漁獲量調査

a) 水揚地調査(魚種:上記魚種とハマダイ、ハマフエフキ、スジハタ類、アオリイカ)

b) 標本船調査(カツオ竿釣、追込網)

#### 3) 標識放流調査(カツオ)